

研究主題	言葉を豊かにし、自分の考えや思いをもち表現できる児童の育成 ～国語科指導法の充実～
------	--

小学校第5学年国語科学習指導案

日時 令和3年9月24日第5校時

対象 第5学年

学校名 新宿区立戸山小学校

授業者

1 単元名 生活の中で読もう

学習材名 「新聞を読もう」

2 単元の目標

○文章の構成について理解したり、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句との関係の表し方を理解して使ったりすることができる。

○事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、要旨を把握することができる。

○目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けることができる。

○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで様々な分野の記事を読み、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ) 思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊か 	<ul style="list-style-type: none"> 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	<p>にすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p> <p>((1)才)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 <p>((1)力)</p>		
<p>学習活動に即した具体的な評価基準</p>	<p>①文章の構成について理解している。</p> <p>②情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句との関係の表し方を理解して使っている。</p>	<p>①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、要旨を把握している。</p> <p>②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けている。</p>	<p>①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使い、学習課題に沿って、情報を読んで活用しようとしている。</p>

4 児童観

(1) 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果を分析しての児童の実態

※グラフは末尾のページ参照

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」で実施した各教科に対する意識調査の結果を見ると、本校の五年生は主要四教科においてどの教科も80%以上の児童が「分かる」と答えている。国語を個別に見ると「よく分かる・・・51.4%」「どちらかといえば分かる・・・40.3%」「どちらかといえば分からない・・・8.3%」「ほとんど分からない・・・0%」となっており、国語の学習が分からないと思っている児童はそれほど多くないと言える。

しかし、学習の進め方についての意識調査では「(6) 学習の途中で、自分がどのくらい分かっているのかを考えている。」の項目が「当てはまる・・・16.7%」「どちらかと言えば当てはまる・・・20.5%」「どちらかと言えば当てはまらない・・・20.7%」「当てはまらない・・・30.6%」となっている。このことから、毎時間の授業で「分かった」「なるほど」という実感を得ているのではなく、「テストの点数が良かった」等の結果で「自分は分かっている」と考えている児童が多いのではないかという懸念がある。※以下、「当てはまる・・・A」「どちらかと言えば当てはまる・・・B」「どちらかと言えば当てはまらない・・・C」「当てはまらない・・・D」とする。

また、「(5) どうやったらうまくいくかを考えてから、学習を始めるようにしている。」
「(7) 学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫(くふう)している。」の結果が低いことから、上記した懸念を含めて一時間の授業の中で学びを得たり深めたりというかたちがとれている児童が少ないことが考えられる。

さらに、国語の学習についての具体的な意識調査ではABを合計しても80%を超える項目がなく、「当てはまる」だけを取り出すと50%を超える項目はない。

特に「(2) 他の人の話を聞くとときは、メモを取って理解するようにしている・・・AB合計45.1%」「(5) 文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる・・・AB合計56.3%」「(6) 文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している・・・AB合計45.7%」の三項目は他と比較しても顕著に低い。(2)や(5)の項目が低いのは、学習の進め方に関するスキルが身につけていない面もあるが、先に述べた「一時間の授業の中で学びを得たり深めたり・・・」という点を考えると無視できない。

これらの結果を総合すると、本校五年生児童は国語の学習において苦手意識はないものの、より豊かに学習を進めるための国語的な学習の進め方のスキルが十分でないことから一時間の授業の中で学びの実感が薄いことが考えられる。

(2) 児童の実態

省略

以上のことから、本校、5年生児童の大きな課題は

- ・語彙数が少ない

- 文章の内容の中心を的確に押さえながら読み取る力
- 事実と意見の違いを読み取る力

であると考えられる。

5 教材観

本単元は、「自分の読みたい記事を見つけ、読んで理解し、感想をもつこと」をねらいとしている。新聞記事の構成・特徴を理解したうえで、同じ出来事でも書かれ方に違いがあることを実際の記事を比較することを通して学習を進めることができる。新聞に書かれた言葉について考えたり調べたりすることで語彙を豊かにすることができる。

新聞は、読者に伝わりやすいように、見出し、リード文、写真、図表などが工夫されて書かれている。ゆえに、見出しでざっと読む、関心のある部分だけを読む、関連記事を読むなど多様な読み方をすることができる。また、見出しやリード文を活用することで、出来事の概要や論説の要旨などをすばやく把握することができる。そうした新聞の特性を生かして、目的に応じて効果的な読み方を工夫することや、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想・意見などの関係を押さえて自分の考えを明確にしながら読んだりすることに適していると考えられる。

6 単元の位置付け

時期	学習材名	学習内容
4年	「パンフレットを読もう」	作られた目的や対象を踏まえて、必要な情報を中心に読む。
5年	「見立てる/言葉の意味が分かること」 「新聞を読もう」 「固有種が教えてくれること」 「想像力のスイッチを入れよう」	事例・理由や論の展開に着目して、要旨を捉える。 書かれた目的や対象を踏まえ、知りたいことにあつた新聞や記事を選んで読む。 文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。 事例と意見の関係をおさえて読み、自分の考えを明確にして伝え合う。
6年	「利用案内を読もう」	必要なところを選んで読んだり、複数の情報を組み合わせて考えたりする。

7 手立て

○評価の工夫

- ・めあてを短い文にまとめ、そのめあてにあった毎時間の振り返りをノートに行う。自己評価の仕方を指導し、その日の内容の理解度を○△の記号でつけ、理由も書けるようにしていく。他教科では単元の終わりには確実にを行う。

1 分かったこと・考えたこと

2 感想

○単元指導計画の工夫

- ・「メモの取り方」「キーワードの見つけ方」等の技術的な面の指導を十分に国語科の授業で行っていく。
- ・国語の時間では毎時間見通しがもてるよう1時間の流れを事前に提示する。
ノートやワークシートに書いたものをICTを活用して写真を撮り、クラスや学年で共有する。
- ・読む力に差があるため、共通で内容理解ができるよう毎時間、新聞の読み方、内容を読む時間を作る。

○家庭支援の工夫

- ・読書カードを配布して、読んだ本のページ数や感想を記入していく。

○今年度、研究主題の言葉を豊かにする、語彙力を高めるための工夫

- ・辞書引き学習を行う。今回の単元では、新聞の記事を読み、良いと思った言葉や文に線を引き、辞書で調べる。また、具体的に見つける言葉やキーワードを指定して、色々な表現方法があることに気付けるようにする。

(例 「素晴らしい」を別の言葉でどんな表現をしているか見つけてみよう)

8 単元指導計画

時	ねらい	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□指導上の留意点 【評価規準・評価方法】
1	学習の見通しをもち、新聞の構成や特徴を理解する。	<p>【めあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもとう。 ・新聞について知ろう。 <p>○見出し文を提示し、何についての記事かを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開幕という言葉があるからオリンピックの記事じゃないか。 ・4403人という言葉があるからコロナの記事じゃないかな。 ・感動した記事じゃないか。 <p>○新聞について知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇新聞を家で読んでいる。 ・毎日発行されている。 ・小学生新聞もある。 ・外国語の新聞もある。 <p>○リード文を読み記事の内容を理解する。</p> <p>○単元のめあてと学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学習の見通しをもつ。 ②記事の内容を理解する。 ③工夫された表現を見つける。 ④表現の違いを理解する。 ⑤自分の好きな記事を選び、内容や考えをまとめる。 <p>※まとめたことを友達に紹介する。</p> </div> <p>○新聞の1面の構成について確認する。</p>	<p>□小学生新聞・スポーツ紙・地方紙・全国紙・英字新聞など様々なタイプの新聞を用意する。</p> <p>【態度】</p> <p>ワークシート・発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞について興味をもち、学習の見通しをもっているか確認。 <p>□見出しやリード文、写真などの構成要素に気付かせ、用語なども理解させる。</p>

		○振り返りをする。	□新聞について知っていることで児童からでた意見から確認していく。
2	記事を読み、必要な情報を見つけ、内容を理解する。	<p>○既習事項の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 記事の内容を理解しよう </div> <p>○見出し文を提示し、何についての記事かを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「使い捨て」という言葉があるからマスクの記事じゃないかな。 • 「脱」という言葉があるから何かから抜け出した記事じゃないかな。 <p>○リード文を読み記事の内容を理解する。</p> <p>○本文や図、表を照らし合わせて、具体的に読む。</p> <p>○分からない言葉を辞書で調べる。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>□一つ一つの単語や言葉に着目させる。</p> <p>□大事な文や言葉に線を引く。</p> <p>□新聞記事は「逆三角形の構成」であることを確認する。</p> <p>【知・技】 ワークシート・発言</p> <ul style="list-style-type: none"> • 記事の構成についての記述や発言の確認。
3 (本時)	記事を読み、必要な情報を見つけたり、工夫された表現について理解したりする。	<p>○既習事項の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新しい表現や言葉を見つけよう。 </div> <p>○見出し文を提示し、何についての記事かを想像する。</p> <p>○リード文を読み記事の内容を理解する。</p> <p>○本文や図、表を照らし合わせて、具体的に読み、記事から工夫され</p>	<p>□前時の学習をいかして、新聞の読み方や構成を確認していく。</p> <p>□よいと思った言葉や文を見つけさせる。</p>

		<p>た表現を見つける。</p> <p>○分からない言葉を辞書で調べる。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>□(例)同じ感情を表す言葉でも、新聞だどどのように表現されているか見つける。</p> <p>【思・判・表】</p> <p><u>ワークシート・発言</u></p> <p>・記事の内容や表現についての記述や発言の確認。</p>
4	<p>必要な情報や工夫された表現を見つけ、記事の表現の違いを理解することができる。</p>	<p>○既習事項の確認</p> <p>【めあて】</p> <p>・表現のちがいを理解しよう。</p> <p>○記事の内容について確認する。</p> <p>○いくつかの記事から、一つの記事を選び、必要な情報や工夫された表現を見つける。</p> <p>○分からない言葉を辞書で調べる</p> <p>○二つの記事について、どんな違いがあるか、どうして違うのかなど、考えたことを話し合う。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>□いくつかの新聞社の記事を用意しておく。</p> <p>□第2・3時で行った視点で記事を読むことができるようにする。</p> <p>【態度】</p> <p><u>ワークシート・発言</u></p> <p>・学習課題に沿って、情報を読んで活用しようとしているか確認する。</p> <p>□同じ内容の記事でも、出版社によって、表現や着目点が違うことに気付かせる。</p> <p>【知・技】</p> <p><u>ワークシート・発言</u></p> <p>・出版社によって、表現や着目点が違うことを理解しているか確認する。</p>

5	<p>新聞の特徴をいかして記事を選び、必要な情報を見つけて読むことができるようにする。</p>	<p>【めあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自分の好きな記事（表現）を選ぼう。 • 選んだ記事をまとめよう。 <p>○新聞の中から自分が興味をもった記事の一つを選び、その記事について要旨をまとめ、思ったことや考えたことなどを書く。</p>	<p>□数日分、何種類かの記事を用意しておき、興味をもった記事を取り上げさせる。</p> <p>【態度】</p> <p><u>ワークシート・発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 文章全体の構成を捉えて要旨を把握したり、工夫された表現について理解したりしようとしているか確認する。 <p>【思判表】</p> <p><u>ワークシート・発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けているか確認する。
	<p>朝学習・家庭学習（課外）</p>	<p>○振り返りをする。</p> <p>○自分の選んだ記事と考えたことについて、友達に紹介する。</p>	<p>□何に着目して記事を見つけたかなど、新聞の読み方に関わる質問をするよう促す。</p>

9 本時案

(1) 本時の目標 (全5時間中の3時間目)

記事を読み、必要な情報を見つけたり、工夫された表現について理解したりする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 評価規準・評価方法
導入	<p>○前時までの学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラ容器の記事を読んだ。 ・本文やリード文などの構成があった <p>○見出し文を提示し、何についての記事かを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異形とはどのような意味だろうか。 ・酷暑という言葉があるから夏の記事じゃないかな。 ・閉幕という言葉があるからオリンピックの記事じゃないか。 <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい表現や言葉を見つけよう。 </div>	<p>□前時で学習した新聞の特徴や構成を確認する。</p> <p>□前時の学習をいかして、新聞の読み方や構成を確認していく。</p>
展開	<p>○リード文を読み記事の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの閉会式があった記事だった。 ・コロナの中だったけど <p>○本文や図、表を照らし合わせて、具体的に読み、記事から新しい表現を見つける。</p> <p>※分からない言葉を辞書で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛否の溝 ・心を動かす ・新風を吹き込む <p>○見つけた工夫された表現について話し合う。</p>	<p>□よいと思った言葉や文を見つけさせる。</p> <p>□今まで見たことや聞いたことのない表現や言葉を意識させる。</p> <p>【思判表】</p> <p>ワークシート・発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事の内容や表現についての記述や発言の確認。
まとめ	<p>○本時の振り返り、次時の学習への見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>新聞記事の文には、初めて見る表現がたくさんあった。私は運動が好きだから、スポーツの記事について読んでみたいと思った。</p> </div>	

(3) 板書計画

(4) 評価を指導に生かすために

○自己評価を位置付ける

毎時間、児童に自身で自己評価をすることにより、できるようになったことを明確にし達成感を抱かせ、表現することへの自信につなげたい。

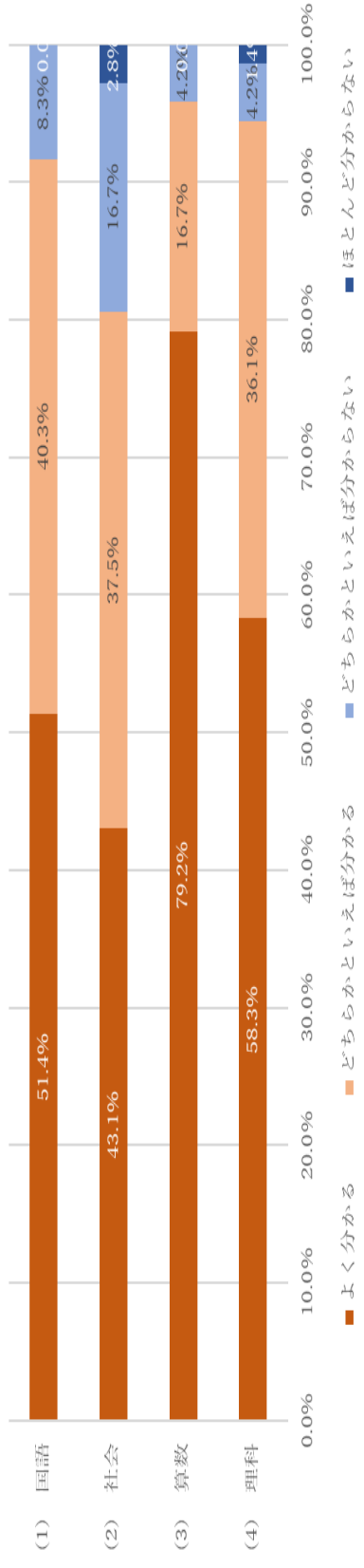
○個に応じた指導を行う

座席表型の評価補助簿を用意し、前時までの学習状況に対して一人一人の課題を把握した上で、適切に支援を行うことにより、全員が課題を達成できるようにする。

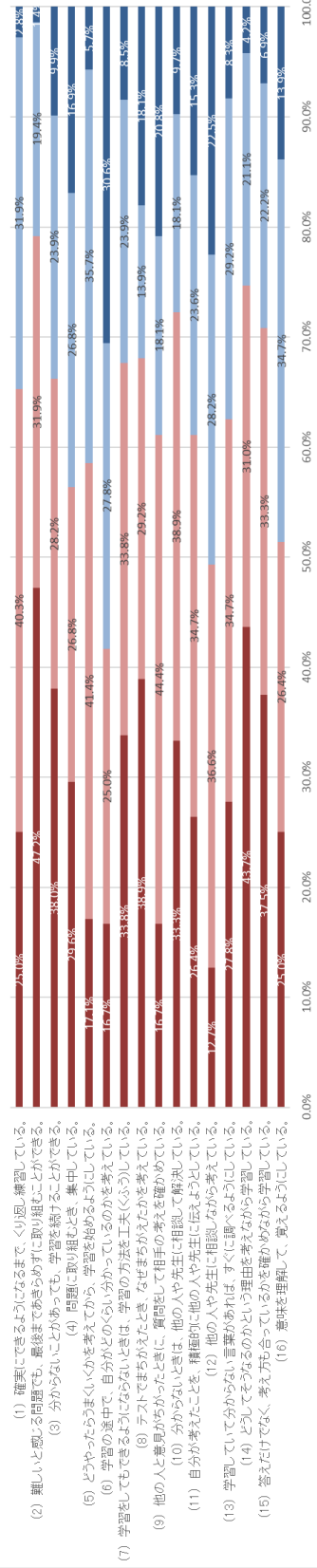
視点

- 1 単元指導計画における語彙力を高めるための手立ては効果的であったか。
- 2 児童の実態に合わせた目標設定は適切であったか。

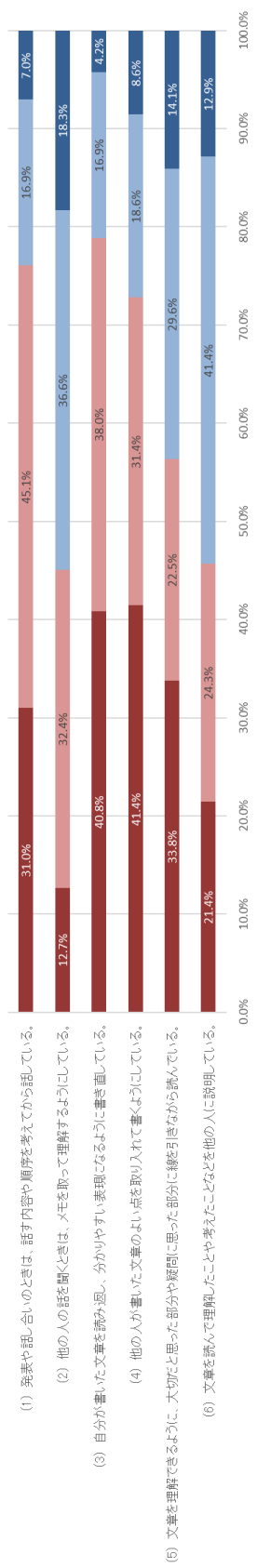
1 授業の内容はどのくらい分かりますか



4 学習の進め方について、一番近いと思うものを選んでください。



6 国語の学習について、一番近いと思うものを選んでください。



10 研究授業を終えて 事後アンケート結果

評価の工夫

○毎授業の振り返りで自分が一時間の授業で何が理解できているか出来ていないか意識するようになった。

- ・そう思う 33人 ・少しそう思う 33人 ・あまり思わない 3人
- ・まったく思わない 1人

単元指導計画の工夫

○学校の勉強で大事な言葉を見つけたら線を引くようにしている。

- ・している 27人 ・たまにしている 28人 ・あまりしていない 11人
- ・していない4人

○新聞に書いてあることが分かる。

- ・よく分かる 35人 ・だいたい分かる 17人 ・少し分かる 6人
- ・分からない 1人

○新聞に興味をもった。

- ・とても興味がある 36人 前からあった(12人) ・少し興味がでた 29人
- ・あまり興味がない 6人

家庭支援の工夫

○本を5年になって読むようになった。

- ・なった 37人 ・変わらない 33人
- ・辞書があるから、分からない言葉を調べて読んでより理解が深まって楽しい。
- ・親や塾の先生に勧められたから。休み時間など空いた時間に読むことが増えた。

今年度、研究主題の言葉を豊かにする、語彙力を高めるための工夫

○辞書引き学習を使っただけの感想から

知らない言葉を知れて楽しい。嬉しい。面白い。

辞書の便利さを知った。

分からない言葉をすぐ調べるようになった。

知っている言葉でも間違っただけ使っていたことに気付いた。もっと深く知れた。

早く辞書が引けるようになった。

言葉に興味がわいた。

漢字を知れた。

すぐ言葉を知った気がした。

言葉を覚えられた。

知った言葉を日常で使えるようになった。

早く目標を達成したい。

知らない言葉がたくさんあって面白い。

付箋が増えていくのが楽しい。

間違った意味で覚えていた言葉が分かった。
毎日辞書を引く習慣や、他の人より多く引きたいと思った。
他の人がたくさん貼っているの、そういう人を目指して頑張りたい。
言葉の使い方を意識するようになった。
新たな言葉を覚え、それを文章の中で使えるようになった。

○新聞の学習をしての感想から

難しい表現を知ることができるし、読み方が分かって新聞が楽しく読めるようになった。

面白い。

今まで使ったことない言葉を知れた。

新聞の工夫、詳しい部分が知れた。

読み方・書き方を知れた。

知らない情報について深く考えるようになった。

新聞を読んではみたくなった。興味を持った。

新聞の良さを知れた。とても興味をもった。

自分の知識を高められた。

楽しい。

記事の工夫を知れた。

新聞は読者が読みやすいように工夫されていることが分かった。

最近新聞を読むようになった。

読んでみたら意外と面白かった。

新聞をつくっている人の気持ちが分かった。

新しい表現や言葉を知れた。

新聞をまとめることを自主学習でもしたい。

1.1 成果と課題

◎成果

- 新聞・社会に興味をもつことができた。
- 言葉に興味をもち、言葉への議論する機会が増えた。
- 知っている言葉でも正しさに気付いたり、間違いに気付いたりした。
- すぐに辞書で調べるようになった。辞書で調べる、習慣がついてきた。語彙力が高まった。
- 言葉の意味が分からなくても、「すてき」な文を前後の文脈から予想して線を引くことができた。

◎課題

- 振り返りを毎時間行うのが大変だった。
単元のまとめだけなど今後も継続してできるよう検討が必要と感じた。
- 主体的な学びに関することなのか、理解に関することなのか学習感想の書き方を考えていく必要がある。
学び方とめあてに対してと項目を分けて感想を書く。
三本の柱でそれに対してのめあてを単元始めにたて、単元終わりに振り返る。
など、今後、学校全体で取り組んでいけるとよいと感じた。